令和7年度ナンバーワンスクール&ステップアップスクール

三好市立山城中学校

ナ ン バ ー ワ ン ス ク ー ル	領域	全教育活動
	主題	なりたい自分を意識し、失敗を恐れず挑み続けよう
	主題設定の理由	<p>本校は全校生徒28名の小規模校である。生徒は素直で何事にも真面目に取り組む。また、一人一人の生徒に対するきめ細やかな支援が可能である。小規模校ならではの活動として、互いの結び付きを大切にすることに加えてコミュニケーション能力の育成を目的とした、縦割り集団活動（異学年交流活動）に取り組んでいる。</p> <p>本校では、毎年、生徒総会での意見をもとに、生徒たちが目指す姿を示す『やまびこ宣言』を作成している。生徒たちが自ら創り上げた目指す姿（なりたい自分）の具現化に向け、失敗を恐れず粘り強く取り組むことのできる生徒の育成を目指す。その際、教職員は良き伴走車として生徒を支え、一人一人の成長を支える。</p> <p>教育活動全体で生徒が小さな成功体験を重ねたり、他者から認められる機会を重ねたりすることを通して、自己肯定感と自己有用感を高め、生徒一人一人が輝く学校となることを目指し、本主題を設定した。</p>
ス テ ッ プ ア ッ プ ス ク ー ル	領域	全教育活動
	主題	互いの良さに気づき、認め合い、伝え合おう
	主題設定の理由	<p>昨年度に続き、SWPBSを教育活動の中心に据える。生徒の望ましい行動を教師が積極的に認め、褒めることを通して、生徒一人一人の自己肯定感を高める。自分の行動が認められ、自分が大切にされていると実感できたとき、生徒の自己肯定感が高まる。そのことが、自分だけでなく相手も大切にすることにつながる。まずは教職員が一人一人の生徒の良さに気づき、それを積極的に認め、しっかりと伝えることから始める。その輪を生徒に広げていくことで、自分と相手の良さに気づき、自分も相手も大切にできて、自分の思いをしっかりと伝えることができる生徒の育成を目指す。昨年度の反省を踏まえ、今年度は目指す姿とそれに取り組む期間を明確にし、互いに評価し合うことで、望ましい行動の可視化に努める。</p> <p>また、ゲストティーチャーを積極的に活用しながら、人権教育と道徳教育に取り組むことで、豊かな人権感覚をもった生徒の育成することを目指し、本主題を設定した。</p>